

## 伐採及び搬出に係るチェックリスト

\_\_\_\_年 \_\_\_\_月 \_\_\_\_日

立木販売買受者： \_\_\_\_\_

売買物件の所在地： \_\_\_\_\_

チェック項目	確認
<p><b>(1) 伐採区域の確認</b></p> <p>① 林地や生物多様性の保全に配慮した伐採を行う。                      ② 着手前に必ず伐採区域の事前確認を行う。                      ③ 区域表示の方法（標示の明瞭度、間隔等）を確認、また現場末端まで周知を行う。                      ④ 林地や生物多様性の保全に配慮し、森林管理署等が示す保護樹帯や保残木を保全する。</p>	
<p><b>(2) 林地保全に配慮した集材施設の設計</b></p> <p>① 地形等の条件に応じて、路網と架線を適切に選定する。                      ② 森林作業道等・土場の作設は必要最小限にする。                      ③ 森林作業道等の線形は、極力等高線に合わせ、森林作業道等・土場は溪流等から距離をおいて配置する。                      ④ 森林作業道等は、溪流等を横断する箇所が少なくなるよう配置する。                      ⑤ 伐採区域のみで森林作業道等の適切な配置が困難な場合には、隣接地を経由することも検討し、森林官等と協議を行う。                      ⑥ 水道の取水口の周辺、人家等特に重要な保全対象が下方にある場合は、森林作業道等・土場を配置しない。また、必要により丸太柵工等の対策を講じる。なお、集落、道路等からの景観に配慮した森林作業道等・土場の配置とする。                      ⑦ 森林作業道等のヘアピンカーブは地盤の安定した箇所に設置する。                      ⑧ 伐採現場の土質が粘性土の場合は、森林作業道等・土場の作設を避ける。やむを得ず作設する場合は、土砂が溪流等に流出しない工夫をする。                      ⑨ 現場の状況に応じて、森林作業道等・土場の配置に係る計画の変更を行う。</p>	
<p><b>(3) 林地保全に配慮した集材施設の施工</b></p> <p>① 森林作業道等の幅及び土場の広さは必要最小限にする。                      ② 切土高を可能な限り低く抑え、盛土はしっかり絞め固め、必要な場合には、丸太組み工等を活用する。                      ③ 余剰な残土・根株については、溪流等の付近は避け、地盤が安定した箇所に、安定した状態で置く。                      ④ 雨水による路面の洗堀・路肩の崩壊等を避けるため、路面の排水は、浸食されにくい箇所でこまめに行う。                      ⑤ 崩れやすい盛土部分の崩壊等を避けるため、必要により丸太組工等の対策を講じる。                      ⑥ 溪流等横断箇所においては、洗い越しでは大きめの石等を使用し、路面を一段下げる、暗渠の場合は詰まらないように杭を立てるなどの対策を講じる。</p>	
<p><b>(4) 作業実行上の配慮</b></p> <p>① 森林作業道等・土場は、土砂の流出を防止するため、必要に応じ路面に枝条を敷設する等の措置を講じる。                      ② 降雨等により路盤が多量の水分を帯びている状態では通行しない。通行する場合には、丸太等の敷設などにより、路面のわだち掘れ等を防止する対策を講じる。                      ③ 伐採現場が人家、道路等の上方に位置する場合には、伐倒木、丸太等の落下防止に必要な対策を講じる。                      ④ 枝条等は溪流等の付近には放置しない。安定した場所に集積しておく。                      ⑤ 主伐の場合、伐採後の植栽作業を想定して枝条等を整理する。</p>	
<p><b>(5) 事業中・実施後の整理</b></p> <p>① 事業中は必要により、事業完了間近の時点で森林官等に現場立会いを求め、林地保全上の措置等について協議する。                      ② 跡地検査時点では上記の措置も含め検査を受け、必要な措置があれば実施する。</p>	
<p><b>(6) 生物多様性への配慮</b></p> <p>① 希少な野生生物の生息・生育を知った場合には、森林管理署長等と協議のうえ、線形及び作業の時期の変更等の対策を講じる。                      ② 集落、道路等からの景観に配慮した森林作業道等・土場の配置とする。</p>	